

福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略 第2期計画について

令和元年12月2日
市長公室 経営戦略課

第1期「まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」について

1 第1期総合戦略策定の経過

- ・国の総合戦略に基づき、2015年1月から総合戦略策定を検討。
- ・「まち・ひと・しごと」の創生と好循環の確立を目指す国の総合戦略に加え、地域創生の柱に「あんしん」を加えている。「あんしん」の上に「まち・ひと・しごと」の創生が成り立つという考え方である。
- ・合計特殊出生率が1.96と高いことから更に子育てしやすいまちづくりに取り組む。

2 福知山市人口ビジョンについて

- ・福知山市人口の現状分析を行い、「国立社会保障・人口問題研究所」や京都府の推計値を参考に、目標推計人口を設定。
- ・2040年に78,300人、合計特殊出生率2.1を設定。
- ・そのまま何も施策を打ち出さなければ60,414人まで減少する。

3 福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略について

- ・2015年(平成27年)度を初年度とした5か年の総合戦略を策定。(H27.10月策定)
- ・人口ビジョンで示す推計人口を実現するため、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組む。

【基本目標】

- ①福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ②福知山市への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

第1期 地方版総合戦略の策定がもたらした効果について

※第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する検証会資料より抜粋

- (1) 人口減少問題に対する認識が、自治体職員、地域、住民ともに高まった。(国によるアンケート結果: 全国で65%の人が人口減少を問題だと感じている。)
- (2) KPIを設定し、PDCAサイクルによって進捗管理することで、より一層、事業の定量的な評価・検証を意識するようになった。
- (3) 総合戦略の検討組織に産学官金労言のメンバーが参加することで連携が深まった。
- (4) 複数の自治体による連携事業の推進が図られた。
(福知山市: 広域連携による連携事業数 6事業)
- (5) 観光入込客の増加につながった。
(福知山市: H27 792,139人 ⇒ H30 927,086人)

第1期 福知山市総合戦略の検証について

1 重要業績指標（KPI）による検証

プロジェクトごとのKPIの達成状況を基に、各年度に実施した地方創生関係交付金に係る事業について検証を実施。

実施年度	対象事業数	年度ごとのKPI	年度ごとのKPI達成数	KPI達成率
H28	26	12	9	75%
H29	28	13	5	38%
H30	27	19	15	79%

2 有識者会議の主な意見

- ①全体的にはどの事業も福知山市の活性化には必要であると考えます。
- ②人材育成などの短期では効果の出にくい事業も長期の視点を持って力を入れられたい。
- ③KPIの数値を超えていれば効果があると判断できるのかは疑問がある。
⇒KPIの妥当性を確保することが必要である。

有識者会議の評価		
実施年度	効果があった事業数	効果がなかった事業数
H28	25	1
H29	27	1
H30	—	—

国の第2期総合戦略の策定について

1 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の方向性

- (1) 第1期での地方創生について「継続を力」にし、より一層充実・強化をはかる。
- (2) 国のビジョン・総合戦略は年内に改訂（ビジョンについては大きな変更なし）
- (3) 地方版は、国のビジョン・総合戦略を踏まえ、切れ目なき改訂

2 第2期策定における新たな視点

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ① 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
 - ② 企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化
- (2) 新しい時代の流れを力にする
 - ① Society5.0の実現に向けた技術の活用
 - ② SDGsを原動力とした地方創生
- (3) 人材を育て活かす
地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を強化。
- (4) 民間と協働する
地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
女性、高齢者、障害のある人、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。
- (6) 地域経営の視点で取り組む

- ① 従来の枠組み維持しつつ、必要な強化
- ② 「人材を育て活かす」「誰もが活躍する地域社会をつくる」観点を追加
- ③ 新たな視点に重点をおいて、施策を推進

3 国・府の総合戦略策定スケジュール

日程	令和元年			令和2年
	6月	10月	12月	3月
国	基本方針策定		国戦略策定	
京都府		府計画情報発信		府戦略策定

国の第2期総合戦略に基づく市の方向について

1 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の方向性

- (1) 第1期での地方創生について「継続を力」にし、より一層充実・強化をはかる。
- (2) 国・京都府の総合戦略を踏まえ改訂
- (3) 第1期総合戦略の効果検証を反映

2 第2期策定における新たな視点

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ⇒関係人口の拡大・創出の取組を追加する。
 - ⇒ふるさと納税の活用を追加する。
- (2) 新しい時代の流れを力にする
 - ⇒Society5.0の取組を追加する。
 - ⇒SDGsの推進取組を追加するとともに、SDGsのゴール・ターゲットを意識した取組とする。
- (3) 人材を育て活かす
 - ⇒地域課題解決に資する人材育成や高度情報化人材の育成を追加する。
- (4) 民間と協働する
 - ⇒地域づくり組織との連携、民間企業との連携を追加する。
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ⇒誰もが活躍できる地域社会を意識した取組とする。
- (6) 地域経営の視点で取り組む
 - ⇒広域連携による行政効率化。地域課題解決、住民サービスの向上に資する取組を追加する。

第2期 福知山市総合戦略の策定スケジュールについて

3 策定スケジュール

日程	令和元年	令和2年			
	12月	1月	2月	3月	4月
フェーズ	計画素案作成		計画策定		広報・周知
庁内PT	素案作成 国戦略との調整			府戦略との調整	
有識者会議	策定方針説明	計画素案の協議	計画(案)の調整		
市民意見			パブリックコメント		発信